

農場通信

農業活動での汗を感動へ ～実習による成就感と達成感～

■ハロウィンカボチャがいっぱい（システム園芸科）

2年生のグリーンライフの授業で、ハロウィンカボチャを作り、草花温室前に展示しました。

カボチャの栽培から自分たちで行いました。5月に種まきし、植え付けや収穫もしました。カボチャをくり抜く方法もありますが、より長持ちするように、ペイントしました。

それぞれの個性あふれる顔に見る人たちも笑顔になります。収穫感謝祭まで展示する予定です。



■チェーンソーの整備とデジタルコンパス測量実習（森林科学科）

森林科学科は業界団体の協力を得て、より専門的な知識と技術の習得に取り組んでいます。今年度はチェーンソーの整備実習とデジタルコンパス測量の実習を行いました。チェーンソーの整備実習は目立てというチェーンソーの刃を研ぐ作業を行った後、実際の切れ味を確認しました。デジタルコンパス実習ではドローンを用いた最新技術の授業と操縦も体験し、現在の森林業界について知ることができました。

毎年、このような経験を通して森林業への憧れを深め、進路先を森林業に関係する企業や学校にする生徒もいます。山梨県立農林業大学校に森林学科も設立されますので、生徒はより深い学びを経験してほしいと思います。



■校内の不便を改善（環境土木科）

3年生が2年次に不便と感じていた雨天時における自転車置き場（森林科学科棟）東側付近の水溜まりを、改善したいという思いから、今年度プロジェクト学習として取り組みました。U字溝等を使用せず、地下浸透を維持しながらソイルセメント、暗渠パイプ、碎石を組み合わせ排水の改善を行いました。計画通り雨天時の水溜りがなくなり、不便さが解消されました。このプロジェクト学習を通して、環境土木科で学んできた測量、農業土木施工、小型建設機械の運転などの、知識や技術を深めることができました。



■庭づくりのプロを目指す（造園緑地科）

山梨県造園建設業協会技術部会が主催する技術講習会が農林高校で行われ、本館正面玄関横に晒竹を使った金閣寺垣を作っていただきました。そして、技術講習会を受講している協会の青年部の皆さんとの交流も兼ねて、造園緑地科の生徒が講習会を見学しました。竹垣について理解を深めたりプロの仕事を目のあたりにして、有意義な見学会になりました。

参加している協会青年部の方の中には昨年3月に卒業したの本校OBやデュアルシステム実習でお世話になっている会社の方々もいました。造園緑地科の生徒にとっても進路を考える上で、「造園建設業」を身近にとらえる良い機会になりました。



■ワインプロジェクト ～成分分析を学ぶ～（食品科学科）

本校は今年度より文部科学省の「マイスターハイスクール事業」の指定を受け、食品科学科のワインプロジェクトを中心に山梨の産業を支える人材育成のための学習が始まりました！9、10月には山梨県産ブドウを使用したワインの仕込みを行いました。ワインプロジェクトはワインを醸造するだけではありません。品質の良いワインにするにはどんな成分が必要なのか、自分たちで仕込んだワインにはどのような成分が含まれているのか、「食品化学」の授業では実際にワインの成分分析を行います！化学的根拠を持って品質の良いワインを醸造する、食品科学科だからこそできる学習です。



■全国大会に出場してきました（農業クラブ）

第72回日本学校農業クラブ全国大会令和3年度兵庫県大会が10月26日～28日の3日間、開催されました。

昨年度は新型コロナウイルスの影響で開催されませんでした、



今年度は感染症対策をした上で、2年ぶりの開催となりました。本校からは代議員1名と農業鑑定競技5名が競技会等に参加し、全国の農業高校の生徒と交流しました。農業鑑定競技に出場した生徒は競技に向けて放課後等を利用し、積極的に学習し大会に臨みました。今回の大会では入賞者はいませんでした、選手1人1人が全力で頑張りました。

大会を通じて、同じ学問を学習している全国の高校生との交流を持てたことは、今後の生徒たちに大きな影響を与えてくれると感じました。